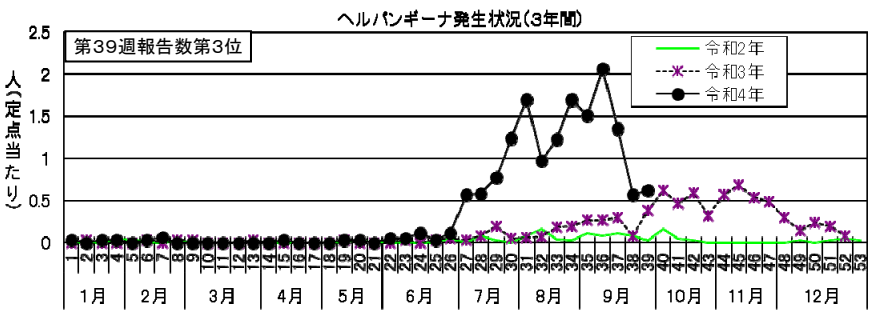
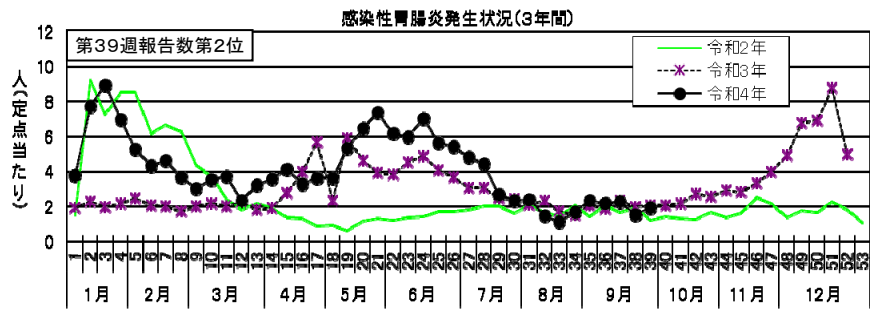
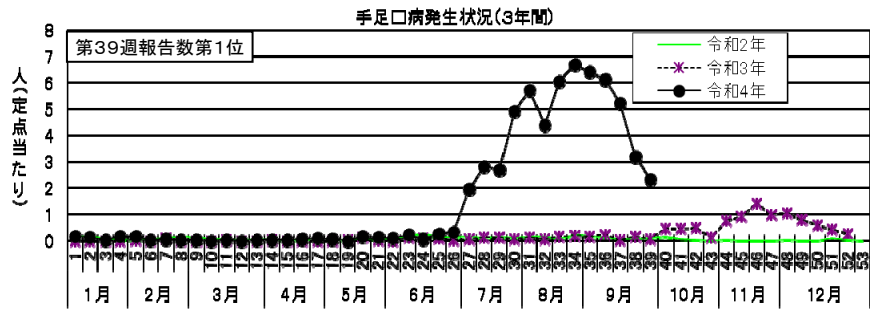


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年9月26日（月）～令和4年10月2日（日）〔令和4年第39週〕の感染症発生状況

第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 感染性胃腸炎 3) ヘルパンギーナでした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.32人と前週（3.19人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.92人と前週（1.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.62人と前週（0.57人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を開始しました

川崎市では、高齢者の方を対象に、令和4年10月1日からインフルエンザの定期予防接種を開始しました。新型コロナウイルス感染症の流行開始以来、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は8月末以降、少数ですが報告されています。同様に、過去2年間インフルエンザの流行がみられなかった南半球のオーストラリアでは、令和4年5月から6月にかけて報告数が急増しました。今後、我が国でも同じような流行がみられる可能性があります。

インフルエンザの流行に備え、今年度に限り、高齢者の予防接種費用の自己負担分が助成され、無料で予防接種を受けることができます。対象の方は接種を御検討ください。

高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種

◆対象者

- 川崎市内に住民登録のある方で、次の①又は②にあてはまる方
- ① 接種日に65歳以上の方
 - ② 接種日に60歳～65歳未満の方
 - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

◆実施期間と回数

令和4年10月1日～12月31日の間に1回

◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関
 （市が指定した市内約680か所の医療機関）
 接種の際は、住所及び年齢を確認できるもの（健康保険証等）をお持ちください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)

